

第8回全国書写書道伝統文化大会
令和元年度全国学生書き初め展覧会

【文部科学大臣賞】

愛知県・刈谷市立東刈谷小学校5年
山内 袖良

うれし涙を流してくれた母

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞を頂き、本当にありがとうございます。私はこのような賞を頂き、おどろきと喜びでむねがいっぱいです。

私は5才から書道をはじめ、今年で6年目となりました。作品を出してから数日後、先生から電話を頂き、結果を聞いた時は嬉しくて思わず歓喜の声をあげました。母は、おめでとう。今までがんばってきたかいがあったね、とうれしなみだを流しながら、いっしょに喜んでくれました。両親には、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今回の練習では筆づかいがとてもむずかしく感じ、指や手首や体の動きがうまくコントロールできず、先生からもとても注意され、どうしてできないんだと自分を責め続けていました。しかし、練習が終わり私の元気がないときは、「あきらめず、必死にがんばれば、結果は後からついてくるよ。先生はずっと応援しています」という先生のはげましの言葉のおかげで、必死にがんばりこのような素晴らしい賞をとることができました。

このような賞をとることができたのは、あきらめず最後まで指導を続けて下さった先生、一番応援し、支えてくれた両親、きびしい練習を一緒にのりこえた仲間のおかげです。

また、審査をしてくださった審査員の先生方、大会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。